

情報モラル学習指導案

平成20年 月 日 () 5校時

仙台市立広瀬中学校 教諭 大本優美子

指導学級 2年 組

- 1 主題名 内容項目4-(2)「よりよい社会の実現に努める」関連項目2-(2)「思いやり」
情報社会への参画において責任ある態度で臨み義務を果す
(情報モラル指導モデルカリキュラム表より)

2 主題設定の理由

(1) 価値観

ここ数年、携帯電話やコンピュータを使ったメールや掲示板などによる生徒間のトラブルが増えている。匿名性の高いインターネットを利用して悪意のある情報を流したり、情報を操作したりする行動は明らかに社会の秩序と規律を脅かすものである。インターネット社会も社会の一部であることを認識し、インターネットを利用すること自体が公共の場を利用することであることを子どもたちに意識させることが大切である。また、インターネットを利用する際にも、自分の責任や義務について考え行動することネットワークの公共性を意識して行動することの大切さを理解できるように本主題を設定した。

(2) 生徒観

インターネット活用状況を第2学年生徒にアンケート調査したところ、昨年度、技術・家庭科で情報についての学習をしたこともあり、回答者の96%が利用し、その活用の第1位は情報を調べるため(219名)、第2位はゲーム(147名)、第3位はメールの利用(130名)となっており、過半数の生徒がメールを利用していることが分かった。また、家庭におけるインターネットを利用する際の約束には携帯電話利用に関するものが多かった。以上のことから、生徒にとってインターネットや携帯電話は身近になっていることが分かった。昨年、技術・家庭科で情報に関する学習をしてきたことで情報モラルに関する知識がありインターネットを利用する際の注意事項は理解していると思われる。また、中学校入学時に携帯電話を持ち始めた生徒が既に携帯の使い方で親にしかられた経験があることもあり、将来誰もが持つことになる携帯電話の使い方について興味関心を持っていると考える。

(3) 資料観

資料名：携帯電話 小中「持ち込み禁止」

本資料は、9月21日の河北新報の朝刊の記事である。携帯電話の取り扱いについて文部科学省が学校への持ち込みを原則として禁止することを報じている。携帯電話のインターネット機能を利用して諸問題が起きていることや携帯電話での犯罪に関するデータなども取り上げられており、携帯電話を利用する際のマナーについて問題を提起している。自分たちに関わる身近な話題として取り上げることができ、私たちが携帯電話の使用方法を考えるための話題提供ともなると思われる。

(4) 指導観

携帯電話を持つべきか持たざるべきかの問いかけから始め、携帯電話がもたらすいろいろ

5 準備物

- ・ 資料
- ・ ワークシート
- ・ パソコン
- ・ プロジェクター

6 評価

- (1) 情報社会においても社会の一員であることを自覚してマナーを守って利用することが大切であることに気づいたか。(道徳ノート)

7 板書計画

別紙にプロジェクター資料あり

携帯電話について	必要	親との連絡のため必要 持っているとき安心できるから必要 必要ではない 別に持っていなくても困らない
携帯電話の悪い点	出会い系サイト	
	いじめ	
	なりすましメール	
	携帯依存	
どうでいてこのような問題が起きるのか		
・ 使い方を知らない		
・ 携帯電話を使う時に考えなければいけないこと		
・ 時間		
・ 相手のこと		
・ マナーやルール		
・ 危険性		